

黙って観るコミュニケーションで 子どもの困りを軽減させるための 糸口をつかむ

ICT活用の成果をもっと家庭に届けるために
何をすればいいのか？を模索した事例

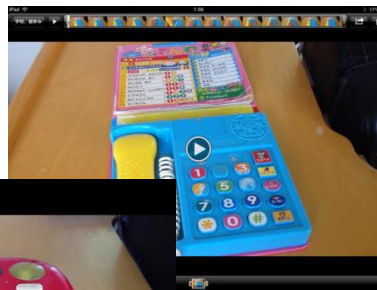
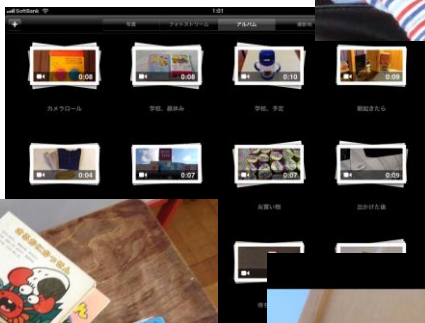
香川県立高松養護学校 佐野将大

実践の手ごたえって何だろう

- ▶教科の学習ができるお子さんであれば、
iPadなどのツールを用いて、
私が提供している情報以上のものを
手に入れようとしたり学ぼうとしたりするとき
- ▶重度の障害のあるお子さんであれば、
子どもの微細な表現を読み取ることができる人が増え
私が想定していない場面でも
コミュニケーションが成立するようになったとき

自分の“手の内”を超え、生活に届くものになること

ある実践を思い出しました。



Aくん。



- ▶ 重度知的障害
重度肢体不自由
視覚障害
- ▶ 「あ、ぱ、だ」と発声
簡単な二語文を理解
眼前でカードの見分け可
- ▶ 要求、拒否がはっきり

泣いたり叫んだりしてしまうんです



Aくんが小学 5 年生のとき（魔法のランプ）

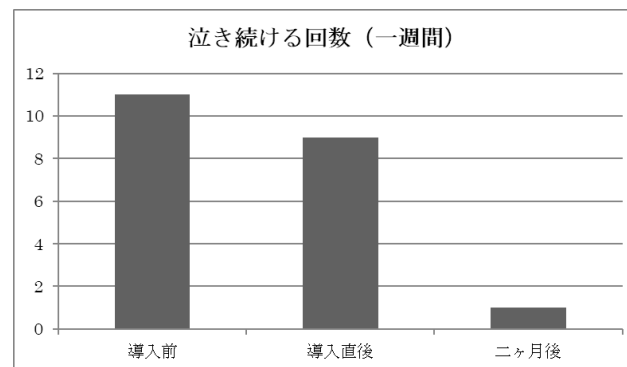


アプリ：「Count Log」

- ▶リビングに場面を絞り
- ▶コミュニケーションの記録
- ▶理解に合わせた選択ツール



選択用ムービー



リビングで落ち着いて過ごせるようになった

Aくんが小学 6 年生のとき（魔法のワンド）



選択用ムービー

- ▶ 飲み物を教材に
- ▶ 選択の因果関係を学ぶ
- ▶ 理解に合わせたやりとり

言葉の学習として
①iPadで予告



基本手続き【※】

②目の前で注ぎ一口飲み、待つ



安定して意思を聞き取れる方法を探す

▶ 子どもの反応が変化

いるとき
わかるときには
↓
「あ！」

いないとき
わからないときには
↓
「・・・（無言）」

「いるとき／いないとき」の反応が変化した

現在高等部 1 年生のAくんが手に入れたこと

リビングで落ち着いて
過ごすための
手段と環境



選択コミュニケーションへの
見通し



選択用ムービー

泣いたり叫んだりしてしまうんです
最近、原因が分かりにくくなりました



私の心のなかの課題意識が育っていく

▶実践の効果は限定的

生活全般を見たとき、彼の困難さの軽減につながっていない

▶A君とのコミュニケーションのポイントはつかめている気がする でも、うまく保護者に伝えられない

▶こうやればいい、という提案で大丈夫だったのか？

困っている場面を解決していけば、全体も良くなると思ったが？

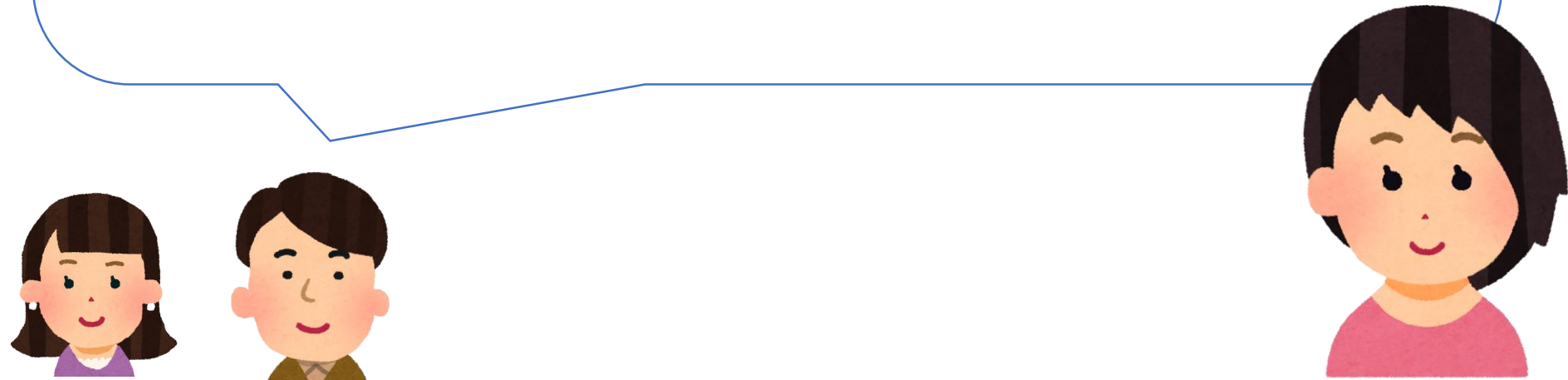
▶A君の本当の困りや気持ちについて、理解できていたのだろうか

その課題を解決できるかもしれない

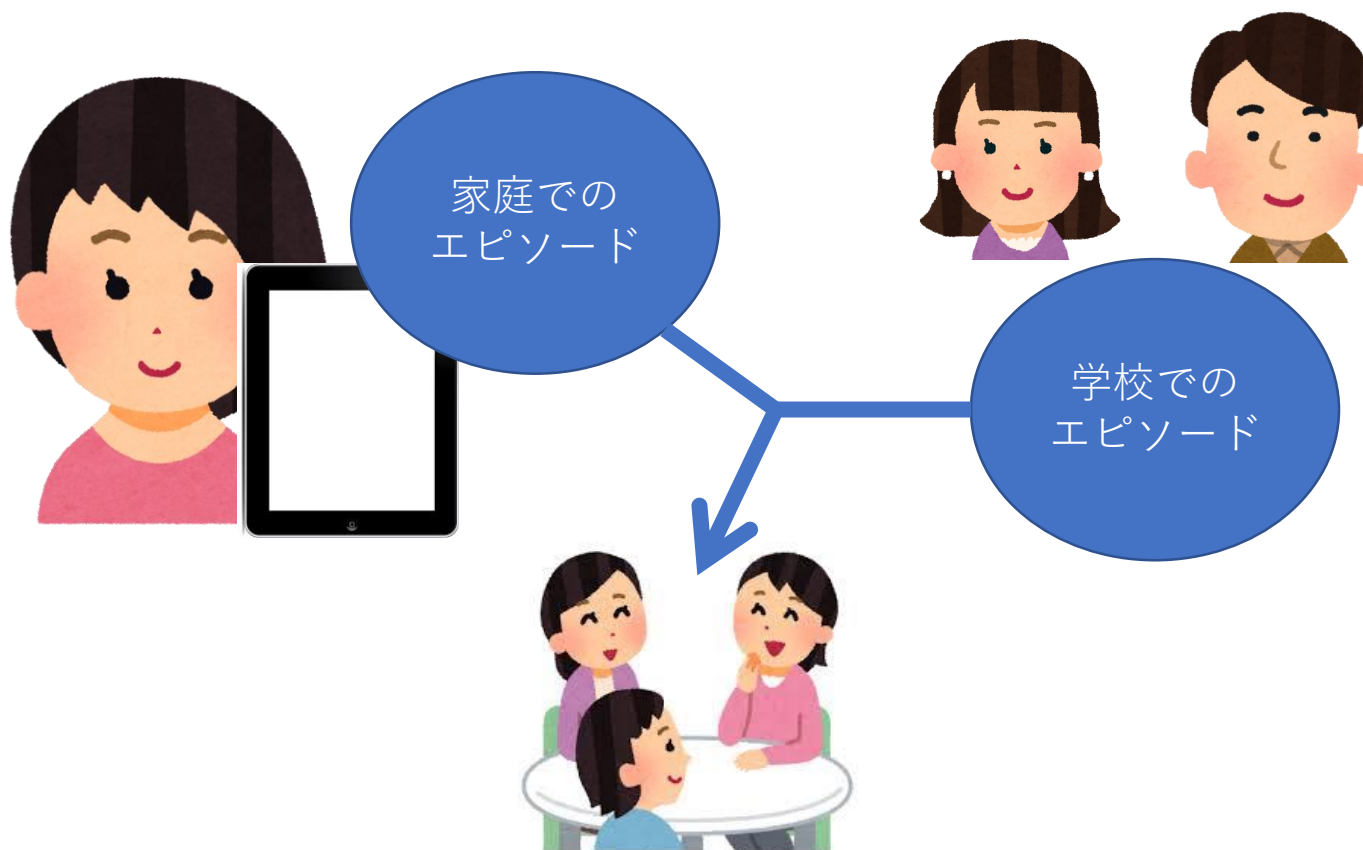
- ▶実践していたあのときには（私が）知らなかった、
観察をベースにした実践（黙って観るコミュニケーション）
の手法がある
- ▶彼の本当の声や困りをもう一度捉え直すことができれば、
この状況を一步前に進めることができるかもしれない

そんな気持ちで保護者に声をかけました

お母さん、今年は、何もせず、一緒に、
Aくんの本当の言葉を考えてみる実践
してみませんか？



実践の流れ（実践前のイメージ）



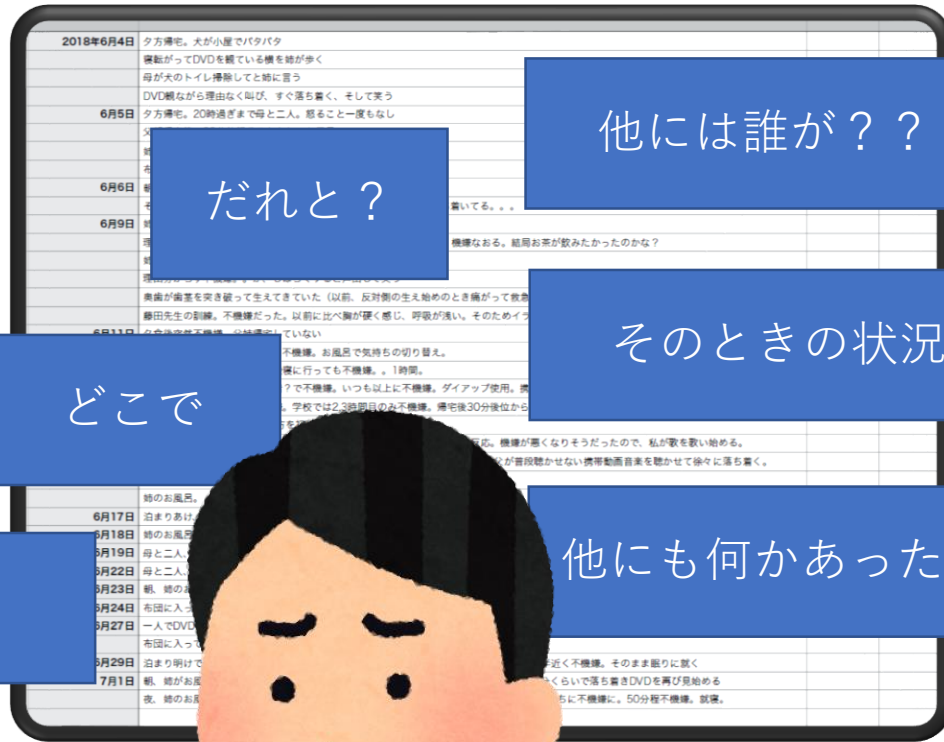
Aくんの声を
できるだけ多く
想像する

本人に確かめるため
の計画を立てる

A君の本当の気持ち・
困りを整理すること
を目指す

実際にやってみると・・・

苦労したこと：エピソード集めるとき



だれと？

他には誰が？？

どこで

そのときの状況は？？？

いつ

他にも何かあったのでは？？？？



上手くいったエピソードの眺め方



A 君が困る場面	特定の相手にイライラしている／誰にでも //
家族の帰宅	特定の相手
家族の会話	特定の相手
電話	特定の相手
慣れない人が家に来る（担任含む）	誰にでも（親戚は大丈夫）
A 君が何か具体的に伝えたいことがある場面	特定の相手
待つ場面	特定の相手 ・ どこでも
ペット（小型犬）	誰にでも
お風呂の扉？の音	誰にでも？（観察不足）

細かく見るのではなく
『場面を抽出する』ために記録を使った

黙って観るコミュニケーションの立案へ

A君が困る場面	特定の相手にイライラしている／誰にでも //
家族の帰宅	特定の相手
家族の会話	特定の相手
電話	特定の相手
慣れない人が家に来る（担任含む）	誰にでも（親戚は大丈夫）
A君が何か具体的に伝えたいことがある場面	特定の相手
待つ場面	特定の相手 ・ どこでも
ペット（小型犬）	誰にでも
お風呂の扉？の音	誰にでも？（観察不足）

Aくんの声を
想像する

黙って観る
コミュニケーション
の計画を立てる

Aくんの本当の声・
困りを整理すること
を目指す

実際に使った資料



話題1 誰かが帰

母と二人でリビング

結果に影響のある状況の違いは無いか

因果関係への仮説

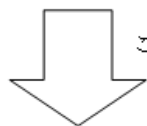
- ・Bに
- ・Bの
- ・Bの

原因を想像してみる

A君の本当に言いたい
ことの仮説

- ・しずかに帰ってきてください
- ・うるさくなるのがし
- ・足音が嫌なんです
- ・お母さんの動きが嫌
- ・急に活動を変えないで
- ・Bが帰ってくると、何かができなくなる！

A君の気持ちも想像する



こういう風にAくんに聞いてみたら、Aくんの反
(生活のなかで、黙って観るコ

それを本人に聞く方法は？

黙って観るコミュニケ
ーションの方法

- ・そーっと帰宅してみる(B)
- ・スリッパを履いてみる(B)
- ・帰宅時の手順を違うものにしてみる(B)
- ・帰宅してから一連の家族の動作を、音が立たないようにしてみる
- ・帰宅してから一連の家族の動作を、声を出さずにする
- ・一人にさせておき、Bが帰ってみる
- ・Cがいる状況で Bが帰ってみる
- ・Bの帰宅に伴うA君の過ごし方の変化をA君視点で観察してみる

こんなことも
ありましたよ



これで息子に聞くことができますね



保護者の黙って観るコミュニケーション

家族が風呂に入るとき

その時間になるとピタッと止まっている

お風呂に向かう足音を聞いている？

で、木の音が聞こえると...

木製の扉を
どうにかしたら..

お風呂の木製の
扉の音に怯えている
ように見えてきたんです
けど、どうしたらいいのか
分からないんです



やりとりの経緯

木製の扉を、他のものに換えられないか、家族に相談してみる
そして、
彼に分かるやりとりで伝えてから、
変更を実施してみる

本人とのやりとりの手順、
メールでお送りしますね



その場に連れて行って
扉をこんこんと叩いて
ちょっと動かして音を聞かせて
これ嫌なん？と聞いて待つ

バイバイ？おしまい？片づけ？
また返事を待つ



お風呂の時間の
イライラが激減！



研究協力者の黙って観るコミュニケーション

ねえねえ、ちょっと聞いてくださいよ
お昼休みに、A君がウトウトしていたんです

手をつなぎたそうにしていたから、
つないでいたんですけど…

耳を澄ませて、小さな物音に反応してるんです

途中で「手いるん？」って聞いたら「あ」って

不安なのかなって思って…

どう思いますー？



つながっていくエピソードとエピソード

家族帰宅時のイライラ

待てたり、待てなかったり

敏感な音への反応

抽象的な概念理解の難しさ

不安、恐怖

視覚障害

耳を澄ませている

夜の不安

どうなるか、分かったり分からなかったり

誰が、誰に伝えているのか分からない

彼の困難さを不安ベースで捉えてみる（仮説）

①（認知）言語理解の困難

- ・ 抽象的な表現 あいまいな事柄 の理解困難
- ・ 時間の概念 の理解困難

②（視覚）近くのものでないと見えない、ということからくる 視覚で状況を理解することの困難

- ・ 人数の変化、状況の区切りが見えないので、
始まったのか終わったのか察知・予測しにくい

③（聴覚）聴覚で理解したいが、認知処理することに困難

- ・ 正体がつかみにくく怖く感じる音がある
- ・ 誰に言っているのか区分けることに困難さがある

④（表出）発音の著しい制限（あ、ぱ、だ）による伝達の困難

- ・ 欲しい、やめて、どうにかして、が伝わらない
- ・ 呼ぶ、はい、いいえ、が伝わらない

⑤（運動）運動障害（寝返りはできる）からくる

状況を回避する方法の理解困難

- ・ こうすれば自分は楽になる、という見通しのなさ
- ・ この場を離れる、とか道具を上手く使うこと、の理解困難

困難さの解決を願う保護者と一緒に考える

困難さ

(できたり、できない)の背景には理解困難がひそむ)

① 言語理解の困難
 ○抽象的な概念 あはれ事柄
 ○時間・順序の理解
 ② ○○すれば、△なる (例: 経験) ③
 ④ □がまた△なる (状況とそれと下の関係性)

② 視覚から状況を把握できない
 ○絵の描き方、位置関係、いつまで(か) (みんなが...)
 ○表情がわからない ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ 聴覚から入る情報を正しく処理できない
 ○音の正確な理解が難しい ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 構音障害による伝達の困難
 ○聞いて、やめて、どうにかなる伝達能力
 ○よび、Yes-No ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ 運動障害によるコントロールの見通しの弱さ
 ○すれば自分が楽になるという見通し
 ○の場を離れる、物とつながる楽になる ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥ 成功パターンの不信
 ○大人の手助け
 ○大人の手助けがなくなる

対処方法

(できたり、できない)の背景には理解困難がひそむ)

① 言語理解の困難
 [あいまいな指示をさける]
 具体物や思い出せるもので伝える
 ex. ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② 視覚から状況を把握できない
 音と物の関係性を意識して伝える。
 ③ 聴覚から入る情報を正しく処理できない
 音の動きで状況を理解させる。指向性
 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 構音障害による伝達の困難
 模倣できないことをきかす。
 ex. ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ 運動障害によるコントロールの見通しの弱さ
 場から離れる。みんながはなれるという置かれた時には、
 このよ、という良い体験 (状況の変化) をさせてあげる。

⑥ 成功パターンの不信
 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

実際にやりとりに使った板書

息子は、耳を澄ませているんですね...



初めて困難さの整理をしたときの感想 (実践者が聞き取り、編集)

困難さを先生と一緒に書き出してみると、その多さに驚くばかりでした。びっくりするほど、普段のエピソードとつながっていく感覚がありました。あのときも、またあのときも、コミュニケーションが「ちぐはぐ」してしまった理由はこれだったのか。

息子はこんな世界で生きているのか。記憶と聴覚に頼り、物事を理解しなければならない息子の状況を想像すると、胸が痛みます。

一つ一つの対処方法を提案

① 言語理解の困難

- ・抽象的な表現 あいまいな事柄 の理解困難
- ・時間の概念 の理解困難

② 近くのものでないと見えない、ということからくる

視覚で状況を理解することの困難

- ・人数の変化、状況の区切りが見えないので、
始まったのか終わったのか察知・予測しにくい

③ 聴覚で理解したいが、認知処理することに困難

- ・正体がつかみにくく怖く感じる音がある
- ・誰に言っているのか区別することに困難さがある

④ 発音の著しい制限（あ、ぱ、だ）による伝達の困難

- ・欲しい、やめて どうにかして、が伝わらない
- ・呼ぶ、はい、いいえ、が伝わらない

⑤ 運動障害（寝返りはできる）からくる状況を回避する方法の理解困難

- ・こうすれば自分は楽になる、という見通しのなさ
- ・この場を離れる、とか道具を上手く使うこと、の理解困難

聞いたことのある音や言葉を使って
体験を想起できるように話しかける



新しい家電が来たら
一緒に体験する



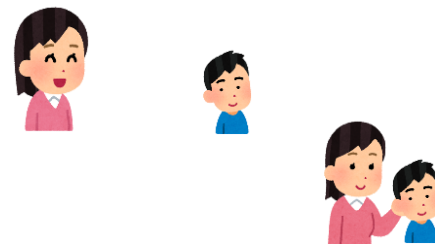
空気を読むのではなく聴覚で分かる
タイマーで時間の区切り理解を促す



夜に高まる聴覚的なコントラストを
和らげる工夫を行う



遠くからは名前を呼ぶ
近くなったらトントンしてから



呼ぶための
VOCA



回避させての
VOCA



安全を確認し
自走で気晴らしタイム



どうにかしての
VOCA



イエス・ノーのやりとりの
手続きを丁寧に



しばらくしてから保護者の感想 (実践者が聞き取り、編集)

分かることに子どもはより注意を向けている、分からないことには注意を向けていない、ということを説明してくれたこと、が、とてもじっくり理解できています。

息子と一度入れ替わることができたら、理解できるのに、と思っていましたが、まさにこの困難さを理解する、ということだったのかな、と思っています。

気持ちが楽になりました。

しばらくしてから保護者の感想 (実践者が聞き取り、編集)

2歳のとき名前を呼ぶと『あっ』と声を出しました。息子は返事ができる！と大喜びしたことを覚えています。その嬉しさから、どのような言葉かけに対しても返事を求めてしまいました。その結果、意味が分からない言葉にも返事するようになってしまったのかなと、親として心苦しく思います。

できることが多いなかでのできないことは重視されます。でも、できないことが多い息子は、できることが重視されやすいと思います。言語理解困難は軽度ではなく、視覚障害も軽度では無いのに…。

しばらくしてから保護者の感想 (実践者が聞き取り、編集)

一か月ほど前から、家での待ち時間にタイマーを使うことを取り入れました。3分ぐらいですが、今では、落ち着いてタイマーがなるのを待っています。

息子の本当の声にかなり近づけた気がして、嬉しいです。でも、欲を言えば、もっと息子が小さいときに、このことを理解できれば良かったと思います。

考察

少なくともこの実践では

困難さを紐解き理解する、ということが重要だった

できないことばかりをあげて並べるのではない

でも、できたことばかりを伝えても生活に届かない

困難さの一部を伝えても、納得には至らない

・・・こともあるのでは

新たな黙って観るコミュニケーションの観点

保護者からの質問

- ▶ 自閉傾向、ということは、困難さなのでしょうか
- ▶ 初めての経験、ということはどう捉えたら？
- ▶ 雑に扱うと壊れてしまう、ということが理解できない、
というのはどう捉えたらいいのでしょうか？

困難さの捉えをこれからも更新していきたい